

心理学・教育学委員会脳と意識分科会（第 25 期・第 1 回）議事要旨

日時：令和 2 年 12 月 4 日（金）14 時 30 分～16 時 00 分

会場：webex 会議

出席者：苧阪直行委員長、松井三枝副委員長、坂田省吾幹事、蘆田宏幹事、今水寛、苧阪満里子、大平英樹、川畑秀明、坂上雅道、仁平義明、山口真美、（11名）

オブザーバー：川合伸幸、斎藤智、村井俊哉、柏野牧夫、高橋英彦、渡部文子、福山秀直（7名）

メール添付配付資料：提言、第 25 期参加委員リスト、マスタープラン 2020

議題

（1）委員の紹介（松井三枝世話人）

配付された参加委員リストの上から順に自己紹介を行った。

6 名の連携会員（川合伸幸、斎藤智、村井俊哉、柏野牧夫、高橋英彦、渡部文子）の委員追加が承認された。また、福山秀直氏の特任連携会員としての委員追加が了解された。委員会内での全委員のメールアドレスの公開が合意された。

（2）役員の選出（松井三枝世話人）

委員長に苧阪直行委員，副委員長に松井三枝委員，幹事に坂田省吾委員と蘆田宏委員を選出した。

（3）24 期までの活動概要の報告（苧阪直行委員長、坂田省吾幹事）

「脳と意識」分科会の設立から現在までの活動概要の紹介を行った。具体的には、第 23 期の 2017 年 9 月 13 日に「融合社会脳研究の創生と展開」の提言を出している。それまでの活動については提言に付いている参考資料 1 に詳しく書かれている。毎年開催してきた公開シンポジウムの紹介と出版物の紹介 シンポジウム成果として、「社会脳から心を探る」を学術会議叢書 26 として 2020 年 2 月に出版した。

2020 年 1 月末に「融合社会脳研究センター構想」がマスタープラン「学術大型研究計画」に採択された。今後は構想実現へ向けてより広い視点を盛り込んだ計画が必要である等の発言があった。

（4）25 期の活動について

新規参加会員 6 名の研究内容紹介を順次していくことを決めた。融合社会脳研究センター構想実現のためにネットワークの形成も含めて少しずつでも実現可能なところから進めていくことを合意した。インターネット会議を通じて仮想空間を創って研究に関する意見交換をしていくことも意義がある等の意見があった。

（5）その他

次回分科会は 3 月中旬辺りに日程調整をして、高橋英彦委員に研究紹介をしていただくことが決定された。